

squash domain

吉原 啓太 YOSHIHARA Keita Exhibition

キスヒサタカ / 杉原尚樹 / DJハガケン / 那谷周平 / 三浦真琴 / 水玉 / 三家総一郎 / メガネヤ(市川ヨウヘイ) / 安川雄基 + 飯坂拓也 / ヤマユウキ / 米子匡司

2013年06月08日[土] — 06月23日[日] 11:00~19:00 *月曜休廊・最終日18:00まで



【広報画像01】

カーボン紙を巻き付けられた「箱」は他者の家(テリトリー)に運び込まれ、表面にその痕跡を色として残す。本展はこの「箱」を運び込まれた他者(美術家、ミュージシャンなど)が、そこに起因するトピックをきっかけに、作品として展開・派生したものを、吉原が編集し、GalleryPARCにて「squash domain」として展示されるものです。

©YOSHIHARA KEITA

ご案内

ギャラリー・パルクでは、2013年6月8日[土]から6月23日[日]まで、吉原啓太による展覧会「squash domain(スカッシュドメイン)」を開催いたします。

吉原啓太(よしはら けいた / 大阪・1981~)は、「私の制作は、“個”をこれまで生きてきた経験や関係性の複合体として捉え、その複合体のその場で出会った状況においての現れ方の模索です。その模索の結果は、制作の過程で関わった記憶、関係性が明示的に現れるインスタレーションとして展示されます」として、2009年に京都精華大学洋画コースを卒業後、これまでに様々な場所・方法によって作品を発表しています。

「squash domain」に展示される作品群は、まず吉原によって用意された「箱(カーボン紙を巻き付け、内部にマイクを仕込んだもの)」を他者の家(テリトリー)に運び込む事に端を発するものです。その他者とはおもにアーティストやミュージシャンなどの固有の表現行為に携わる人々であり、彼らは「日常空間に突如運び込まれた大きな箱」という事実・体験、あるいはそれに由来する音や痕跡をきっかけに、個々に作品をつくりだします。そして、提出されたそれらは吉原によって編集され、また「吉原啓太による個展」の展示作品として会場に配されます。

本展では吉原により投げかけられたアクション(他者のテリトリーへの浸食)が、キスヒサタカ / 杉原尚樹 / DJハガケン / 那谷周平 / 三浦真琴 / 水玉 / 三家総一郎 / メガネヤ(市川ヨウヘイ) / 安川雄基 + 飯坂拓也 / ヤマユウキ / 米子匡司により個々のリアクション(固有の表現)へと変換され、再び吉原によって編集・発表されます。

こうした他者とのリレーションと変換(読み換え)のプロセスにある、個々の領域(domain)への浸食(squash)から顕在化する要素を収集・編集し、そこから「個」の有り様を模索する方法論は、吉原によって近年に幾度か試みられているものであり、本展はその展開・発展を目指す機会ともなります。

squash domain

吉原 啓太 YOSHIHARA Keita Exhibition

キスヒサタカ / 杉原尚樹 / DJハガケン / 那谷周平 / 三浦真琴 / 水玉 / 三家総一郎 / メガネヤ(市川ヨウヘイ) / 安川雄基 + 飯坂拓也 / ヤマユウキ / 米子匡司

2013年06月08日[土] — 06月23日[日] 11:00~19:00 ※月曜休廊・最終日18:00まで



【広報画像02】

medias processor

2012@此花メディア 木材、カーボン紙、画用紙、コンデンサーマイク、ボイスレコーダーなど

2012年に此花メディアでの展示風景。「大きな箱を運び込み、展示する」ことに由来する音や行為などを素材に、DJハガケン・前谷康太郎・三浦真琴・水玉・大川輝らがそれぞれ作品を制作・展示した。

©YOSHIHARA KEITA

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、[info@galleryparc.com]迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 squash domain - YOSHIHARA Keita Exhibition

吉原啓太展

出品作家 吉原啓太(よしはら・けいた)

キスヒサタカ / 杉原尚樹 / DJハガケン / 那谷周平 / 三浦真琴 / 水玉 / 三家総一郎 / メガネヤ(市川ヨウヘイ) / 安川雄基 + 飯坂拓也 / ヤマユウキ / 米子匡司

会期 2013年06月08日[土] — 06月23日[日] 11:00~19:00 ※月曜休廊・最終日18:00まで

主催 Gallery PARC

料金 無料

展示内容 【インスタレーション】

吉原啓太による個展。吉原によって運び込まれた「大きな箱」をきっかけに、10名におよぶアーティストに制作を依頼したその成果物は、吉原によって再度編集され、会場にインスタレーションとして展示される。

会場 Gallery PARC[グランマール ギャラリー・パルク]

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル

[Tel&Fax] 075-231-0706 【Mail】 info@galleryparc.com 【HP】 http://www.galleryparc.com

アクセス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分。

三条通・御幸町通の交差点北西角[グランマール]店舗内2階

問い合わせ Gallery PARC [グランマール ギャラリー・パルク] (正木・永尾)

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル[ル・グランマール カフェ クラッセ] 2F

[Tel&Fax] 075-231-0706 【Mail】 info@galleryparc.com

squash domain

吉原 啓太 YOSHIHARA Keita Exhibition

キスヒサタカ / 杉原尚樹 / DJハガケン / 那谷周平 / 三浦真琴 / 水玉 / 三家総一郎 / メガネヤ(市川ヨウヘイ) / 安川雄基 + 飯坂拓也 / ヤマユウキ / 米子匡司

2013年06月08日[土] — 06月23日[日] 11:00~19:00 *月曜休廊・最終日18:00まで

【作家略歴】

吉原 啓太 YOSHIHARA Keita Exhibition

<http://yoshiharakeita.com/>

2009年03月 京都精華大学 芸術研究科 芸術専攻 洋画コース卒業
 1981年12月 大阪市に生まれる。

展覧会

2013年04月 『ENCOUNTER』/此花メチア(大阪)
 2012年11月 『NAMA_MEDIAS medias connection vol.3』/此花メチア(大阪)
 2012年11月 『三輪の家』大和・町家サブリースプロジェクト/モトオカキ工場(奈良)
 2012年04月 『re_processor』/此花メチア(大阪)
 2012年04月 『re_processor』/此花メチア(大阪)
 2011年10月 『medias_connection_vol.2』/此花メチア(大阪)
 2010年05月 『出石芸術百貨街10』/出石町各所(岡山)
 2010年03月 『さようならとはじめまして』/piaNPO(大阪)
 2010年01月 『新春メチアの集い』/此花メチア(大阪)
 2009年10月 『Art Camp 2009』/Gallery Yamaguchi Kunst-Bau・サントリーミュージアム(大阪)
 2009年11月 『mikke knohana』/此花区梅香各所(大阪)
 2009年03月 『CARPET AREA』/Kuzuha Art Gallery(大阪)
 2009年02月 『第40回京都精華大学芸術学部卒業・修了制作展'09』/京都市立美術館(京都)
 2008年09月 『Art Camp 2008』/Gallery Yamaguchi Kunst-Bau・サントリーミュージアム(大阪)
 2007年02月 『第40回京都精華大学芸術学部卒業・修了制作展'07』/京都市立美術館(京都)
 2006年07月 『Art Camp in Kunst-Bau 2006』/Gallery Yamaguchi Kunst-Bau(大阪)
 2006年07月 『風景のツクリカタ～最解釈のための方途～』/GALLERY FLEUR(京都)

【ステートメント】

「人」は日々、偶然もしくは意識的に何かを見たり、経験することにより、知識、技術、感性を変化させながら生きています。また、なにか自分一人では解決できない出来事に直面した時、「人」は「他の人」の助けを借りてそれを解決しようとします。そして、その経験や知識や技術、感性で成したり得たりした物事を、「私」の特有あるいは固有の物事として扱っています。

例えば、ある画家が絵画を作品(=仕事)として提示するとき。使用されているキャンバス、絵の具などその物体を構成する要素は、画材メーカーにより制作され、画材屋で購入している。また、その手に入れた画材を用いて、先人達が生み出したオイルオンキャンバスという技法の上で、絵画作品の形に整形し提示しています。

“私”は「人」が生きて活動する上で当たり前な事としている「私」や「所有」についての再考を試みます。

「人」をこれまで生きてきた経験や関係性の複合体として捉え、その場で出会った状況やプロセスにおいて編集された「私」という「様相」の現れ方を模索しています。

“私”は過去に関わってきたあらゆる経験や関係性から、その場・その時に必要と思える情報・物質・人員などをたぐり寄せ、編集し、“私の仕事”として提示します。

吉原啓太

【展覧会について】

「squash domain」は、吉原が「他の人」の自宅やアトリエなど他者のテリトリーに、大きな箱を運びこむことから始まります。ここで箱をテリトリーに運び込まれるのは、美術作家、ミュージシャンなど、それぞれ固有の表現様式や視点をもつ作家達です。

そのテリトリーに運び込まれた大きな箱に起因するトピックは、新たなきっかけとなって後に他の作家によって展開・派生していきます。

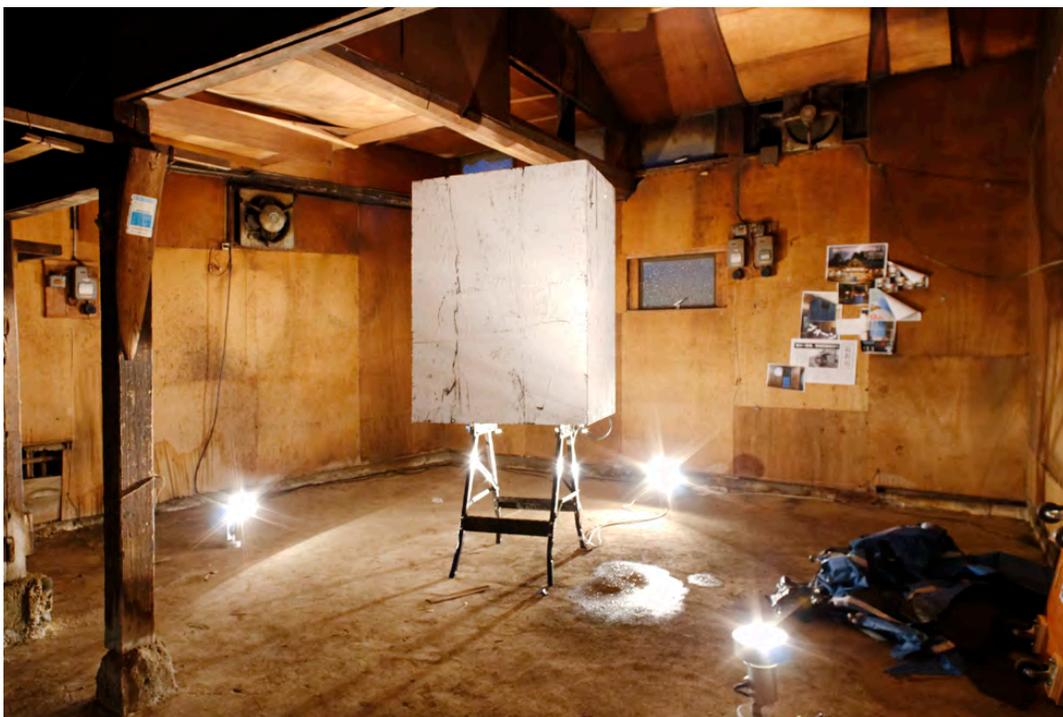
そしてそれは、吉原により編集され、GalleryPARCにて「squash domain」として展示される。

squash domain

吉原 啓太 YOSHIHARA Keita Exhibition

キスヒサタカ / 杉原尚樹 / DJハガケン / 那谷周平 / 三浦真琴 / 水玉 / 三家総一郎 / メガネヤ(市川ヨウヘイ) / 安川雄基 + 飯坂拓也 / ヤマユウキ / 米子匡司

2013年06月08日[土] — 06月23日[日] 11:00~19:00 *月曜休廊・最終日18:00まで



【広報画像03】

human processor

『三輪の家』大和・町家サブリース
プロジェクト / モトオカキ工場
2012年11月@「三輪の家」奈良県
©YOSHIHARA KEITA



左【広報画像04】

エノコジマ・ワークショップ・ ラボ「RE COLLECTIONS」

2012年8月@江之子島文化芸術創造センター



右【広報画像05】

Fateful encounters

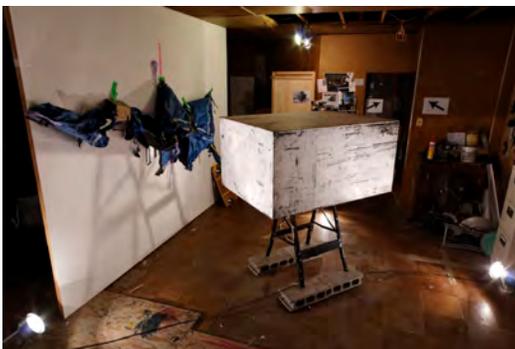
2009年10月@サントリーミュージアム
(大阪)
©YOSHIHARA KEITA



左【広報画像06】

木箱

2009年11月@「見つけ！このはな（此花アーツファーム構想）」



右【広報画像07】

Quad-core processor

2013年04月@『ENCOUNTER』/此花メデア(大阪)
©YOSHIHARA KEITA